

平成 30 年度第 3 回日進市食育推進委員会議事録

平成 31 年 1 月 17 日（木）午後 2 時から

日進市中央福祉センター 2 階 多機能室北

出席者：委員 9 名 事務局 5 名

〔委員〕安達内美子、川本勲（欠席）、小野田笑子、牧志帆梨、佐藤宏子、内山綾美、田口菜穂美、福岡光枝、角野純子、下野房子

〔事務局〕鈴木敦詞課長補佐、岩城佳寿係長（産業振興課）、木村文香管理栄養専門員（健康課）、榊原裕美課長補佐（こども課）（欠席）、山本重樹主任（学校給食センター）、山田ゆかり主事（学校教育課）（欠席）

傍聴者：無し

事務局：本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。只今より平成 30 年度第 3 回日進市食育推進委員会を始めさせていただきます。それでははじめに、委員長からごあいさつをお願いいたします。

委員長：こんにちは。お忙しい中ありがとうございます。計画を策定しているなかですが、これは国や県も同様に計画を策定しているなか位置付けられていますが、国際的にも必要となつていきます。計画のなかにも触れていますが、SDGs といって 2030 年までに世界が目指す目標について示されています。食に関わることとしては、マイクロプラスチックのことや最近では節分、恵方巻の廃棄の問題に関して国からの通達もありました。食品ロスと食の安全性は矛盾もありますが、食育の推進のなかで難しい問題だと思います。どういった社会を目指していくかを共通認識し、意思決定をしていくことが必要です。皆様からご意見をいただき、よりよい計画にしていきたいと思っております。

事務局：ありがとうございました。それでは、会議に移らせていただきます。これより先は安達委員長に議事進行をお願いいたします。

1 第 3 次日進市食育推進計画（案）について

委員長：それでは、次第に従って進めさせていただきます。

次第 1 「第 3 次日進市食育推進計画（案）について」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：年末に、食育推進計画（案）を郵送させていただき、皆様からご意見をいただきました。今回、事前配布させていただいた計画（案）は、皆様からいただいたご意見を踏まえて修正したものです。本日は、計画策定業務を委託させていただいております、株式会社名豊の倉島様にご出席いただいております。計画（案）について、倉島様からご説明をいただいた後、第 4 章の中の「行政の取り組み」の部分について、産業振興課からご説

明させていただきます。それでは、倉島様、よろしくお願いいたします。

名豊：(資料に基づき、名豊より説明)

事務局：(資料に基づき、第4章を事務局より説明)

委員長：ありがとうございました。なにかご意見はありますか。

下野委員：当日配布の資料は差し替えでよろしいでしょうか。

事務局：はい、その通りです。差し替えをお願いします。

牧委員：小中学校で講演会などは開かれるのでしょうか。そういったものがあると食育が広がると思います。関わりとはじめて発見があるので、そういった機会を設けるといいと思います。

委員長：今までにそういった取組は行っていますか。

事務局：本日、小中学校の担当が欠席していますが、そのような取り組みは行っていないと思います。

牧委員：PTAのなかで研修部というのがあり、そこで食育研修会を開いています。しかし、そういったものは少数しか参加していませんので、もっと大勢いるところで開催していただけるとPTAとしても助かります。

事務局：ご意見を担当課に伝えさせていただきます。

田口委員：1ページ目の5行目ですが、「食」しかありませんのでよくわかりません。また、それぞれの「コシヨク」についても説明があるといいと思います。「固食」の意味は何ですか。

名豊：「自分の好きな決まった物を食べること」です。また、他市事例では他の「コシヨク」もありますので、掲載方法等事務局と検討したいと思います。

下野委員：3つ並べるのであれば、字を見てわかりやすいものがいいと思います。

委員長：30ページで子供食堂が書いていますが、日進市でも子供食堂での事業がありますので、関連事業に載せていただけるといいと思います。

下野委員：「子ども食堂」の表記は「子供」と「子ども」、どちらでしょうか。

名豊：市の事業名に合わせるといいと思います。市の事業はひらがな表記ですので、そちらに合わせます。

委員長：37 ページの関連事業に（環境課）が2つついていますので、1つに修正してください。

田口委員：44 ページの目標項目にある「日進市産食材」ですが、学校給食での米は日進市産ですか。

事務局：学校給食について、米はすべて日進市産です。

田口委員：使用料を合わせて現状では10%ということですか。これを現状値以上にするための施策は何か行っていますか。

事務局：野菜の量としては、農家の協力が必要なので、J Aを通じてお願いをしながら進めます。

下野委員：例えば、米と野菜を分けて記載するのはどうなのでしょう。

角野委員：日進市産の野菜が入るのは、主にたまねぎになりますので、食育推進月間と合わせて行っています。また、赤米が手に入るときにはそういったものも使います。夏場はゼロです。ここ数年はカボチャがよくとれて、カボチャコロックを作りました。そういう事情ですので、分けての記載は難しいのではないかと思います。

委員長：農家との関係やそのときの気候もあるので、なかなかすぐにあげていくのは難しいということですね。

下野委員：日進市以外ではどこからくるのですか。

角野委員：季節によって異なります。

委員長：他にいかがでしょうか。今後、何か気づいた点が出てきた場合は対応可能ですか。

事務局：パブリックコメントもありますので、何か気づいた点がありましたら1月22日までにご意見いただければと思います。

2 その他

委員長：その他について、事務局からありますか。

事務局：(その他について、事務局より説明)

委員長：それでは、事務局にお返しします。

事務局：ありがとうございました。これもちまして、平成30年度第3回日進市食育推進委員会を閉会します。